印刷日:2012年７月９日
Ver3.10 第６版

ポイントチェッカー
取扱説明書

タイムマシーン株式会社

目　次

1. 概要 …… 3

2. 使用上の注意事項 …… 5

3. 機器構成 …… 7

4. 語句説明 …… 11

5. 警告灯の色／音 …… 13

6. 操作方法 …… 14

準備

1）ID、パスワードの設定 …… 14

2）ブラウザ設定 …… 14

はじめに

1）サーバを起動する …… 14

2）ポイントチェッカーの初期画面を開く …… 14

3）ログインする …… 15

4）ログアウトする …… 15

モードを選択する

1）そのつどチェック（随時応答）を使ってチェックする …… 16

2）まとめてチェック（自動応答）を使ってチェックする …… 21

7. システムの動作状況を確認する …… 24

1）「プロセス状況確認」をクリックする …… 24

2）「ネットワーク状況確認」をクリックする …… 24

3）システムの設定をする …… 25

8. 焦点を調節する …… 29

9. 困ったときは …… 31

10. よくあるご質問 …… 32

参考１　機器消費電力一覧 …… 34

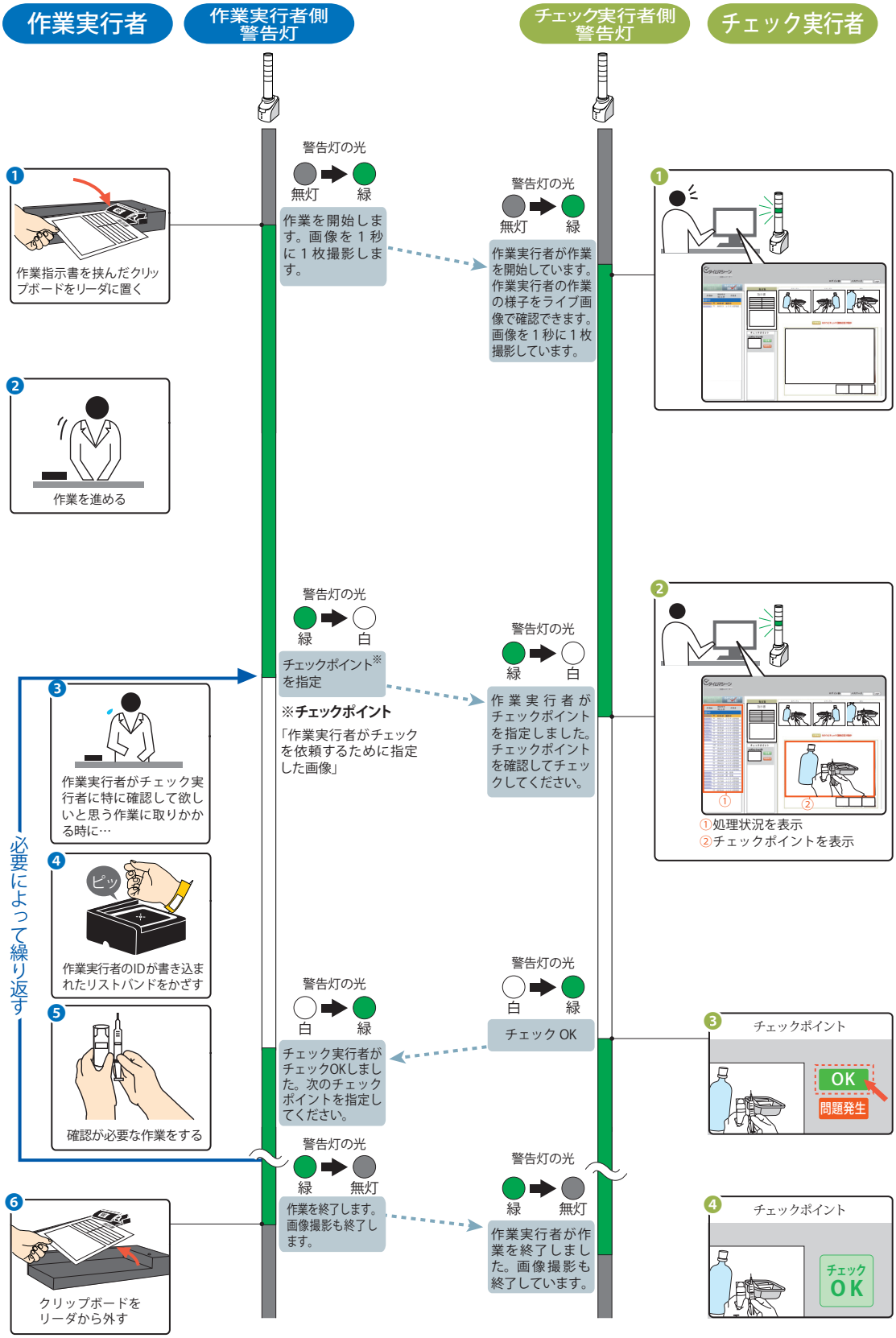
参考２　カメラ焦点調節 …… 35

参考３　Safari　windows 版のインストール方法 …… 36

更新履歴 …… 37

1. 概　要

　ポイントチェッカーは、ある特定の業務をチェックし、かつチェックした事実を画像と一緒に記録・保存するためのシステムです。



※そのつどチェックの場合

問題発生

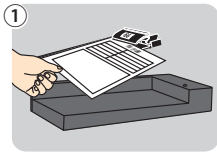
・問題発生ボタンをクリックすると、エラー状態になり、警告灯の色が白色から赤色に変わります。

・エラー状態になったら、その作業は中止して下さい。

・解除されるまでは、すべての操作ができません。
解除後に新たに作業をやり直してください。

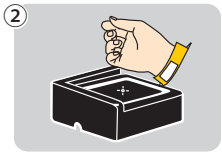
＜エラー解除＞

次の3つを行わないとエラー状態は解除されません。

① 

作業実行者

作業実行者が、作業指示用リーダからRFIDを外す

② 

作業実行者

作業実行者が、エラー解除専用RFIDをチェックポイント用リーダにかざす

③

チェック実行者

チェック実行者が、解除ボタンをクリックする

読み取りエラー

チェックポイント用リーダがRFIDを読み取れなかった場合に警告灯が黄色に点滅し、音が鳴ります。

注意喚起（音だけ）

作業実行者

チェックポイント用リーダに注意喚起用RFIDをかざす。警告灯から音が出ます。点灯、点滅はしません。

チェック実行者

ボタンをクリック。
警告灯から音が出ます。点灯、点滅はしません。どの状態（警告灯が無灯でも）からでも注意喚起することができます。

◎作業実行者は、RFID(リストバンド､カード､クリップ､クリップボード)をリーダにかざした時点の画像をチェックポイントとして指定することができます。

◎チェック実行者は、チェックポイント画像をチェックします。モードを切り替えることによって作業中でも作業後でもチェックすることができます。

◎作業中にチェックする場合は、作業実行者の様子をライブ画像で確認できます。

◎セキュリティが確保されたネットワークを経由すれば、遠隔地からでもチェックを行えます。

2. 使用上の注意事項

！警告

■ポイントチェッカーは医療機器ではありません。

■医療行為の判断材料として使用しないでください。

■絶対に参照端末及びポイントチェッカーの機器をインターネット環境に接続しないでください。撮影した画像情報がインターネット上に流出する恐れがあります。

■インターネットに接続したこと及び機器の管理上の事由により個人情報が外部に流出した場合、弊社はその一切の責任を負いかねます。

！禁忌・禁止

■防爆型ではありませんので、消毒用アルコールや中性洗剤などの爆発性可燃物、油蒸気等の可燃性及び引火性ガスのある場所では絶対に使用しないでください。発火や故障の恐れがあります。

■防振・防滴・防浸型又は耐環境型仕様ではありませんので、次のような環境下での使用は、故障の原因になります。

・直射日光の当たる場所
・紫外線のあたる場所
・暖房機、加湿器等、使用中の熱器具に近い場所
・水のかかる場所
・湿度が高い場所
・化学薬品のかかる場所
・放射線のあたる場所
・ほこりの多い場所等
・その他通常の環境ではない場所

◎本システムは、TCP/IPネットワークを使用したベストエフォート型です。ネットワークを通じた撮影は100%の確度では行われません。データ欠損から起こるコマ落ち等はある程度の確率で必ず発生します。

◎画像、データ等が「存在しない」という事象は、鑑査時の判断に使用できません。写したつもりでも写っていないという事象が起こり得ます。「写っていない」という事象から鑑査判断をしないでください。

◎該当する作業IDがチェックOKと表示されていることを必ず確認してください。特に複数の作業IDをまとめて確認する場合は、NGや未処理に非表示であるという理由からチェックOKだという消去法による確認は絶対にしないでください。

◎ポイントチェッカーを改造しないでください。また他のソフトをインストールしないでください。

◎電波を使用したRFID機器のリーダライタを含むので、使用する用途・場所によっては医療機器に影響を与える恐れがあります。

◎ POEアダプタのスイッチを5Vの設定のまま変更しないでください。12Vだと過電圧のためリーダーが故障します。

◎外付けハードディスクの電源ボタンを押さないでください。この電源ボタンを押しますとRAID異常となります。

◎サーバの電源ボタンを押してOFFにしないでください。ポイントチェッカーの画面に電源をOFFにするボタンがあります。

◎天井面、壁面に確実に固定してください。その際、安全のため必ず耐荷重5kg重の落下防止を施してください。

◎ RFIDリーダ及びLANケーブルと電源ケーブルに振動、モーメント等の負荷がかからないように配慮してください。

◎振動や接続不良により、リーダーが動作しない場合があります。RFIDリーダの設置において、RFIDリーダの中心点にRFIDカードの中心点が2cm以内に重なるようにしてください。（RFIDカードは被接触式であり受信限界距離は水平垂直とも中心点より2.5～3cmに設定されています。）

◎ RFID カードを折り曲げる、或は湾曲させないでください。動作しなくなります。

◎参照用端末のIPアドレスがカメラやリーダーのIPアドレスと重複しないようご注意ください。

注意事項！

・参照端末には、ブラウザ「Safari 5.1.7 以降」をインストールしてください。Internet-Explorerでは、参照することができません。

・ポイントチェッカー参照用端末をPOEスイッチにLAN接続してください。

・撮影範囲に直射日光や蛍光灯の直射などがあると、光の反射により画像が撮影できなくなりますのでご注意ください。

・既存機器も含めた十分な電気容量（*P34参考 1）を確保してください。

・電源投入後、ポイントチェッカーが立ち上がるまで約 5 分程度かかります。

・カメラとレンズ間のスペーサーリングを２枚以上使用しないでください。焦点が合わせられなくなります。

・LAN ケーブルなどの配線部材はカテゴリ5E以上準拠、両端はRJ45コネクタ接続してください。

・LAN ケーブル終端（POEスイッチ側）には、行き先表示札を取り付けると機器故障時の原因特定のために便利です。

・瞬間停電や電圧降下などが恒常的に発生しない安定した電源供給を確保してください。

・RFIDの置き位置がずれると電波が弱くなり、RFIDリーダが誤作動したり反応しなくなる場合があります。

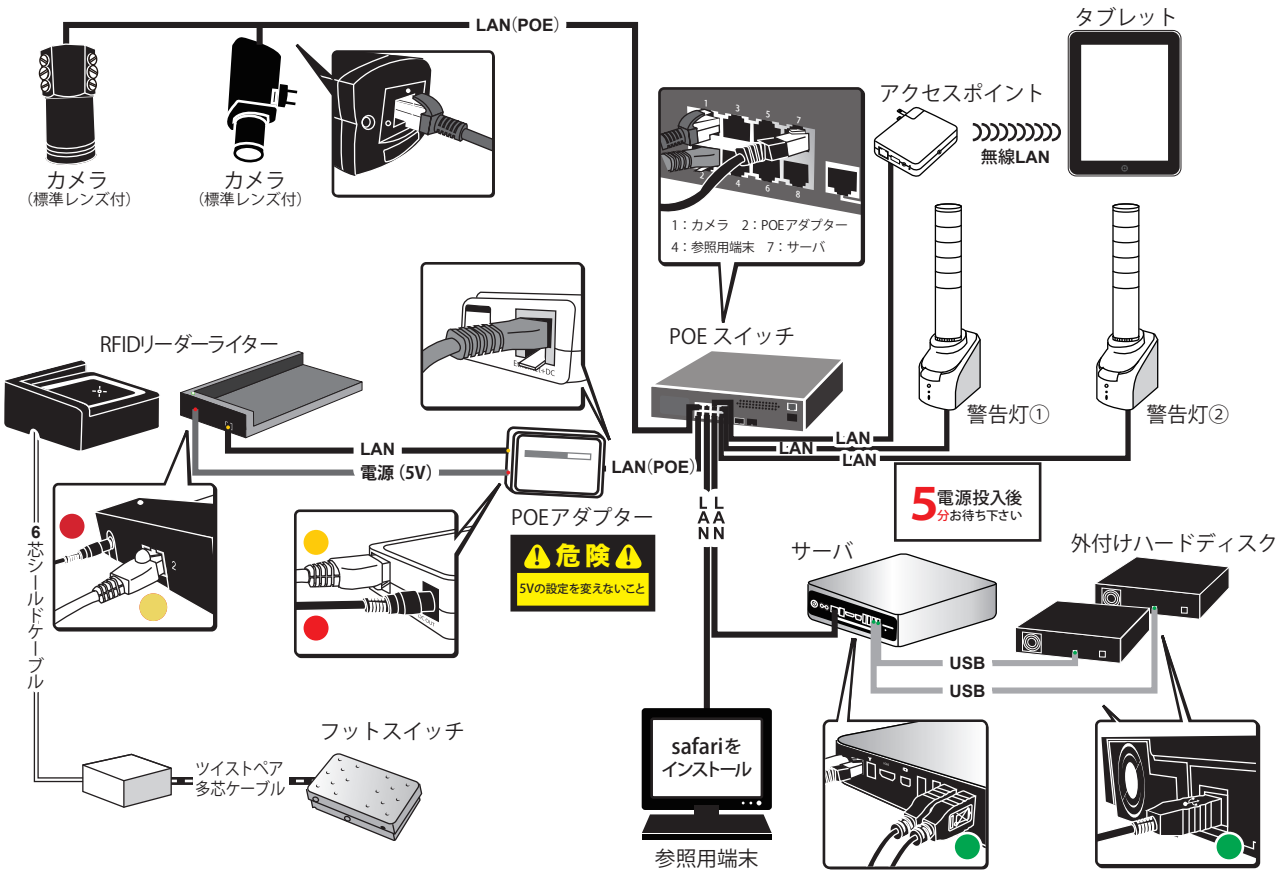
・外付けHDDの電源ボタンは絶対に押さないでください。電源コードを挿入すれば電源が入ります。

・外付けHDDの電源を入れてからサーバに接続した後、サーバに電源を入れてください。先にサーバに電源を入れると、外付けHDDが認識されません。

・電源ケーブルを抜いてサーバを終了させないでください。故障の原因になります。

・サーバに電源が入っている状態でケーブルを抜かないでください。データが破損する場合があります。

3. 機器構成



ver 1.1

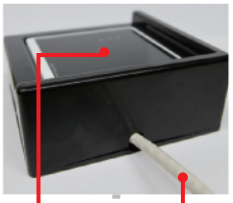
機器名称	仕様
リーダ	◎作業指示書用とチェックポイント用の２種類あります。 ◎ POEアダプタを使い LAN ケーブルから電源を供給します。 ◎ RFIDリーダの中心点 (電波の受信が最も強いところ) は黄色マークの部分です。 この黄色の中心点にRFIDカードの中心が重なるようにしてください。
POE アダプタ	◎ POEスイッチとRFIDリーダの間に接続します。 RFIDリーダに電源を供給する機器。スイッチは 5Vに合わせてあります。
クリップボード	◎ RFID カードをクリップボードの裏側に貼付けて使用します。
クリップ	◎ RFID チップがクリップに取付られています。
RFID カード	◎フットスイッチを使う場合及びリストバンドやクリップの替わりに使用できます。
リストバンド	◎ RFIDと一体化した粘着ラベルをリストバンドに貼付けて使用します。 ◎粘着ラベルは、リストバンド以外にも貼付けることができます。
カメラ	◎スペーサーを 1 個挿入して、メガピクセルカメラにレンズを装着します。
サーバ	外付けハードディスク (HDD) を組み合わせて使用します。 外付けHDDに画像データが保存されています。 外付けHDDの電源は自動的に入ります。 ◎電源ONの方法：背面のボタンを押す ◎電源がONの状態：サーバ前面、右側のランプが点灯中

機器名称	仕様
警告灯	◎状態を色で表示します。作業実行者の警告灯とチェック実行者の警告灯には、同じ色が表示されます。
外付けHDD	◎サーバと接続して使います。
参照用端末	◎参照用端末には、ブラウザとしてSafari5.1.7以降をインストールしてください。 ◎ Internet Explorerは、参照時に不具合が生じるため、使用できません。

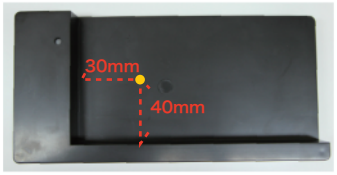
RFIDリーダ

◎ POEアダプタを使いLANケーブルから電源を供給します。

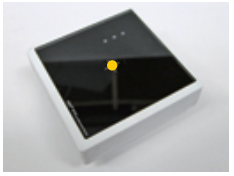
◎ RFIDリーダの中心点（電波の受信が最も強いところ）は黄色マークの部分です。
この黄色の中心点にRFIDカードの中心が重なるようにしてください。



ランプ：緑
録画中は、赤



ランプ：青
録画中は、赤



ランプ：緑または青色点滅
録画中は、「赤↔緑」点滅
録画開始時にビープ音

注意！

◎位置がずれると電波が弱くなり、RFIDリーダの誤作動や反応しなくなる場合があります。

◎ RFIDリーダの設置間隔は35cm以上とってください。相互干渉してしまい誤動作の原因になります。

POEアダプタ

◎POEスイッチとRFIDリーダの間に接続します。
RFIDリーダに電源を供給する機器。
スイッチは５Vに合わせてあります。

注意！

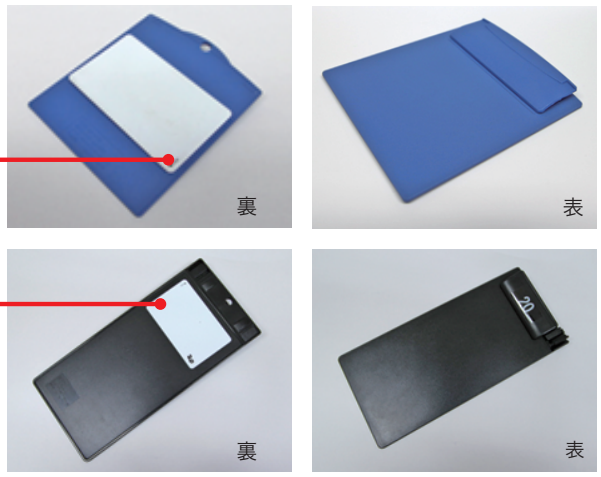
絶対にスイッチを動かさないでください。

12Vだと機器が破損します。

クリップボード

◎RFIDカードをクリップボードの裏側に貼付けて使用します。

◎RFIDカードだけでもお使いになれます。



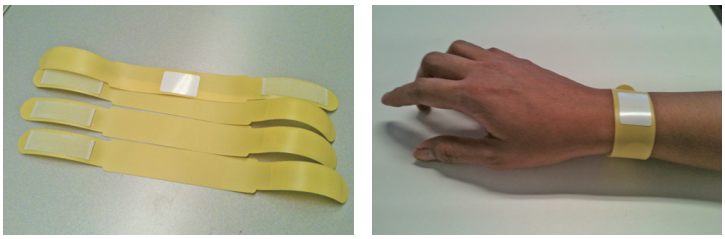
クリップ

◎RFIDチップがクリップに取付られています。

リストバンド

◎RFIDと一体化した粘着ラベルをリストバンドに貼付けて使用します。

◎粘着ラベルは、リストバンド以外にも貼付けることができます。



◎リストバンドの上からゴム手袋、プラスチック手袋を装着してご使用になれます。

フットスイッチ

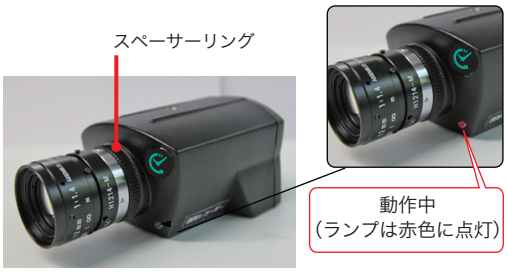
◎リストバンドの替わりに、フットスイッチを使用することもできます。

◎RFIDカードをチェックポイント用リーダに置いている間、フットスイッチを使うことができます。

◎RFIDカードに登録された作業実行者のIDが表示されます。

カメラ

◎スペーサーを１個挿入して、メガピクセルカメラにレンズを装着します。



注意！
消毒用アルコールや中性洗剤などの揮発性可燃物の近くで使わないでください。発火や故障の恐れがあります。

警告灯

＜表示ルール＞

色	意味
緑	OK ／作業中
赤	問題発生
黄	注意
青	行動要求
白	作業保留

サーバ

外付けハードディスク（HDD）を組み合わせて使用します。

◎ 外付けHDDに画像データが保存されています。
◎ 外付けHDDの電源は自動的に入ります。

◎電源ONの方法（図１）背面のボタンを押す
◎電源がONの状態（図２）
　サーバ前面、右側のランプが点灯中

（図１）

（図２）

注意！
◎電源ケーブルを抜いてサーバを終了させないでください。故障の原因になります。
◎電源が入っている状態でケーブルを抜かないでください。データが破損する場合があります。

4. 語句説明

語句	内容説明	操作
作業	リーダにRFIDを置いてから外すまでを１つの作業とします。作業中は１秒に１枚画像を撮影します。	
作業 ID	作業毎に割り当てられるID。リーダにRFID（リストバンド、カード、クリップ、クリップボード）を置くと自動的に採番されます。	
作業指示書	処方箋、オーダーシートなど作業内容を指示した書類。作業指示書専用のカメラで撮影します。	
チェック	作業が正しく行われたことを画像により確認すること	
チェック実行者	作業実行者の作業をチェックする者	
作業用画面	作業実行者が作業時に使用する画面	
チェック用画面	チェック実行者がチェックするときに使用する画面	
チェックポイント	作業実行者がチェックを依頼するために指定した画像	チェックポイント用リーダに作業実行者IDが登録されたRFID（リストバンド、カード、クリップ、クリップボード）をかざして正常に読み取り
チェックポイント用リーダ	チェックポイントを指定	
作業指示書用リーダ	作業を開始し、画像を撮影	
問題発生	チェック実行者がチェックポイントの画像を問題ありと判定した状態。エラー状態となる。	チェック用画面から問題発生ボタンをクリックします。「本当に問題発生でいいですか？」という確認画面に対して「はい」をクリックします。
エラー状態	作業実行者の作業内容に問題があるためチェック実行者が問題発生と判定した状態。作業は中止となります。	
エラー状態の解除	エラー状態を解除して、画像撮影及び作業が出来る状態に戻すこと。作業実行者とチェック実行者の両者がエラー状態解除操作する必要があります。	
エラー状態の解除（作業実行者）	エラー状態において作業実行者からのエラー状態解除。エラー状態解除用RFID（リストバンド、カード、クリップ、クリップボード）を使用します。	◎ 作業指示書用リーダからRFID（リストバンドカード、クリップ、クリップボード）を外します。 ◎ チェックポイント用リーダにエラー状態解除用RFID（リストバンド、カード、クリップ、クリップボード）をかざして正常に読み取り。

語句	内容説明	操作
エラー状態の解除（チェック実行者）	エラー状態においてチェック実行者からのエラー状態解除。	チェック用画面からエラー状態解除ボタンをクリックします。
注意喚起	音による注意喚起。作業実行者、チェック実行者とも。相手方に通知できます。	
作業実行者への注意喚起	作業実行者に対する作業開始OKなどの意思表示。	チェック用画面から注意喚起ボタンをクリックします。
チェック実行者への注意喚起	チェック実行者に対するチェックを督促するなどの意思表示。	チェックポイント用リーダに注意喚起用RFID（リストバンド、カード、クリップ、クリップボード）をかざします。
OK	チェック実行者がチェックポイントの画像をOKと判断。	チェック用画面からOKボタンをクリックします。
読み取りエラー	チェックポイント用RFID（リストバンド、カード、クリップ、クリップボード）、エラー状態解除用 RFID（リストバンド、カード、クリップ、クリップボード）、注意喚起用 RFID（リストバンド、カード、クリップ、クリップボード）の読み取りに失敗している。RFID（リストバンド、カード、クリップ、クリップボード）、をチェックポイント用リーダにかざす間隔は、５秒以上必要です。	◎ 作業実行者IDが登録されたRFID（リストバンド、カード、クリップ、クリップボード）をチェックポイント用リーダにかざして読み取りに失敗。 ◎ チェックポイント用リーダにエラー状態解除用RFID（リストバンド、カード、クリップ、クリップボード）をかざして読み取りに失敗。
ログイン ログアウト	チェック実行者が、チェック用画面を開く／閉じること。チェック画面を閉じる時に必ずログアウトする必要があります。	
タイムアウト	一定時間連続して操作がない状態が続いた場合、ポイントチェッカーをログアウトさせること。 タイムアウト実行時に作業及びチェック中であった作業IDの記録は残りません。 初期設定では、タイムアウトはありません。	
そのつどチェック	そのつどチェックは、作業実行者の作業と同時進行でチェック実行者がチェックを行うためのモードです。	「そのつどチェック（随時応答）」ボタンを選択
まとめてチェック	まとめてチェックは、作業終了後にチェックするためのモード。なお、いずれのモードにおいても、画像撮影中はチェックすることができません。	「まとめてチェック（自動応答）」ボタンを選択

警告灯の色	意味	警告灯の状態	警告灯の音	作業の状態	操作 （作業実行者）	操作 （チェック実行者）
緑色	作業中	点灯	短音 （ピッピッ）	画像撮影中	作業指示書用リーダにクリップボードを置いた時	OK ボタンを クリックした時
	OK	点滅		すべての チェック ポイントが OK	チェックポイント用 リーダにリストバンドをかざした時	
赤色	問題発生	点灯	短音と長音の 組み合わせ	問題発生	―	問題発生 ボタンを クリックした時
		点滅				
黄色	注意	―	長音 （ピーピー）	―	―	―
		点滅		読み取り エラー発生	チェックポイント 用リーダがリスト バンドの読み取り に失敗した時	―
白色	作業保留	点灯	短音 （ピッピッ）	チェック 待ち	チェックポイント用 リーダにリストバンドをかざした時	―
		―	―	―	―	―
青色	行動要求	―	―	―	―	―
		点滅	長音 （ピーピー）	チェック要求	チェックポイント 用リーダに注意喚 起用リストバンド をかざした時	―
無灯	作業中 ではない	―	―	画像撮影 なし／ 作業なし	リーダから クリップボードを 外した時	―
	注意喚起	―	短音 （ピッピッ）	―	チェックポイント 用リーダに注意喚 起用リストバンド をかざした時	注意喚起 ボタンを クリックする

6. 操作方法

準備

1）ID、パスワードの設定

・IDとパスワードは、システム管理画面から登録できます。「ポイントチェッカー管理設定ガイド」を参照して下さい。

2）ブラウザの設定

・参照端末のブラウザのホームページに初期画面を設定するか、デスクトップに作成した起動アイコンをクリックします。**URL:http://サーバのIPアドレス/audit/**

safari のインストールについてはP36、参考 3「Safari windows 版のインストール方法」ご覧下さい。

はじめに

1）サーバを起動する

・サーバの電源ボタンを押して、サーバを起動します。

・サーバの電源はONのまま、電源はOFFにせずそのままお使いください。

・その他の機器も同様です。

注意！
ポイントチェッカーの起動には、約 5 分程度かかります。起動後、RFIDリーダのランプが点灯します。

2）ポイントチェッカー初期画面を開く

・ブラウザを起動して、初期画面を開きます。

3）ログインする

・ID とパスワードを入力し、同意事項を確認してください。

注意！
チェック実行者がログインしてから作業実行者は、作業を始めてください。

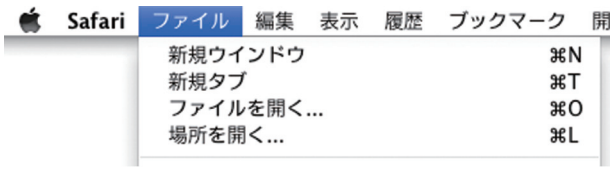
A. 閲覧ログイン

まとめてチェック（自動応答）とそのつどチェック（随時応答）両方のモードを参照する場合、「閲覧ログイン」をクリックしてログインしてください。
参照のみでチェックすることはできません。すでに監査でログインしている人がいても、閲覧ログインすることができます。また、閲覧ログインは２人以上同時に行えます。

B. 鑑査ログイン

チェックを行う場合、「監査ログイン」をクリックしてログインしてください。チェックすることができるのは、ログインした１名だけです。

注意！
画面を開く際に、Safariの新規タブを使わないでください。
新規タブで２つ以上の画面を開くと画面の表示が重くなってしまいます。



4）ログアウトする

・まとめてチェックの場合は、10分間でタイムアウトして自動的にログアウトします。

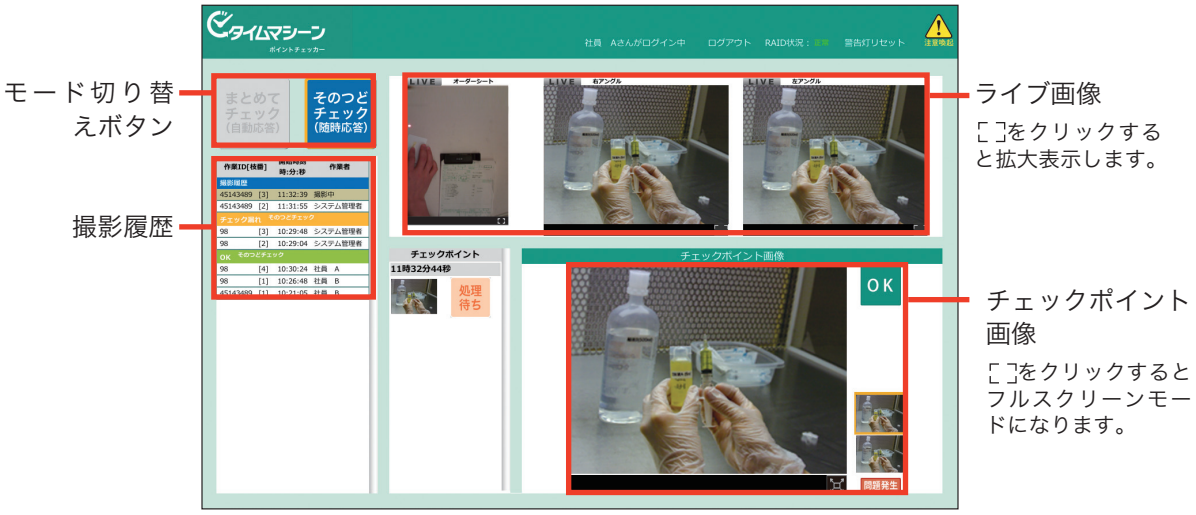
注意！

そのつどチェックの場合は、タイムアウトして自動的にログアウトしません。チェック終了時や参照端末から離れる際に、必ずログアウトしてください。ログアウトせずに画面を閉じてしまった場合は、ログイン中のIDを削除すれば、再度ログインできるようになります。削除方法は、ポイントチェッカー管理設定ガイドを参照してください。

モードを選択する

1）そのつどチェック（随時応答）を使ってチェックする

チェック実行者は、必ず作業を始める前に、まとめてチェック（自動応答）あるいは、そのつどチェック（随時応答）のどちらかのモードを選択してください。画像撮影途中にモードの変更はできません。



（カメラ３台）

注意！

作業開始前にモードを確定させてください。作業途中でのモード変更はなさらないようお願いします。

A. 画像を撮影する（作業実行者）

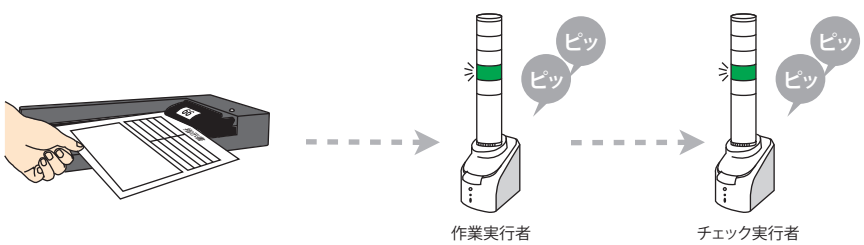
①作業実行者が、作業指示書用リーダにRFIDを置きます。

②作業実行者の警告灯が無灯から緑色に変わります。

③チェック実行者の警告灯が無灯から緑色に変わります。

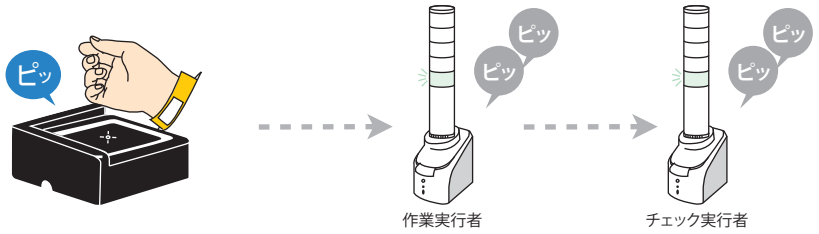
注意！

警告灯は、作業実行者とチェック実行者とも同じ色が表示されます。



B. チェックポイントを指定する（作業実行者）

①作業実行者がチェックポイント用リーダにRFIDをかざして、チェックポイントを指定します。
②警告灯の色が緑色から白色に変わります。

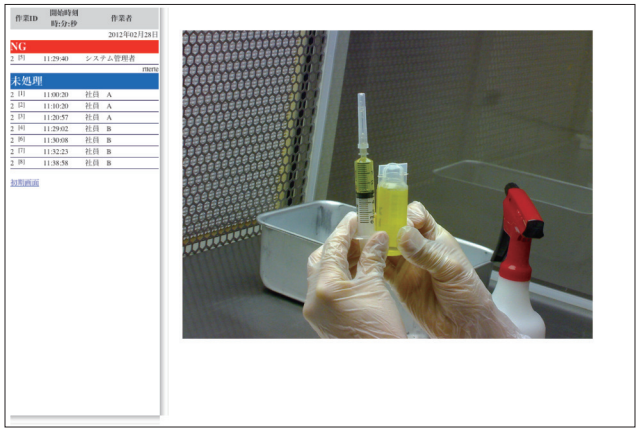


注意！
・警告灯が緑色に点灯していない時はチェックポイントを指定できません。
・警告灯が白色に点灯している時に再度チェックポイントを指定しても画像表示は更新されず、すでに指定された画像がそのまま表示されます。
・チェックポイント用リーダにRFIDをかざし続けたり、フットスイッチを何回も踏んだり、踏み続けたりするとチェックポイントが重複して指定される場合があります。

C. 撮影中のチェックポイントの画像を確認する（作業実行者）

①作業実行者が、本日のチェック状況をクリックします。

②チェックポイント用リーダにリストバンドをかざした時点の画像を画面右側に表示します。



＊端末を作業位置から見える場所に設置しておくと便利です。

D. チェックする（チェック実行者）

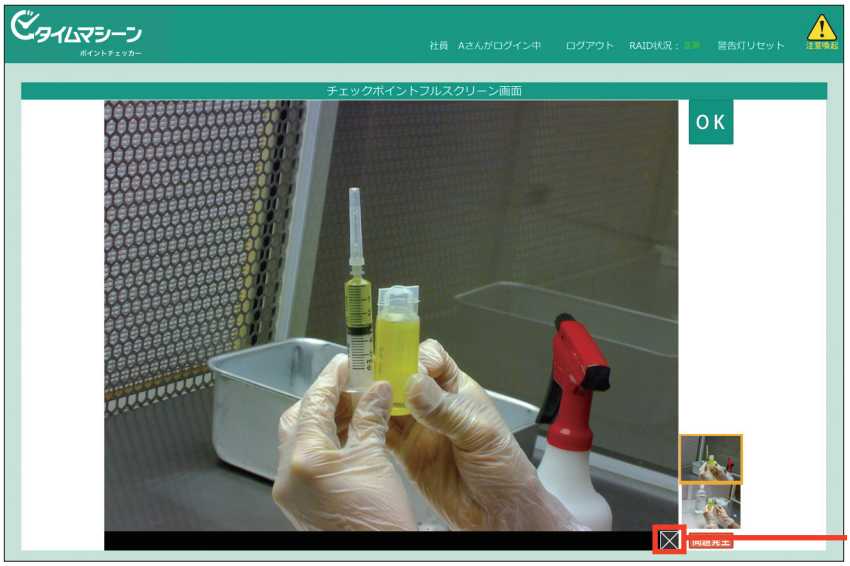
①チェック実行者が、チェックポイントの画像を確認してチェックを行います。

②画像を確認して、チェックポイントを「OK」または「問題発生」ボタンをクリックしてください。

「フルスクリーン表示」ボタン

＜フルスクリーン表示を使う場合＞

作業実行者がチェックポイントを指定する前に「フルスクリーン表示」ボタンを予めクリックしてください。表示された画面にチェックポイントの画像が表示されます。フルスクリーン画面から「OK」「問題発生」を行うことができます。



☒ をクリックすると通常画面に戻ります。

注意！

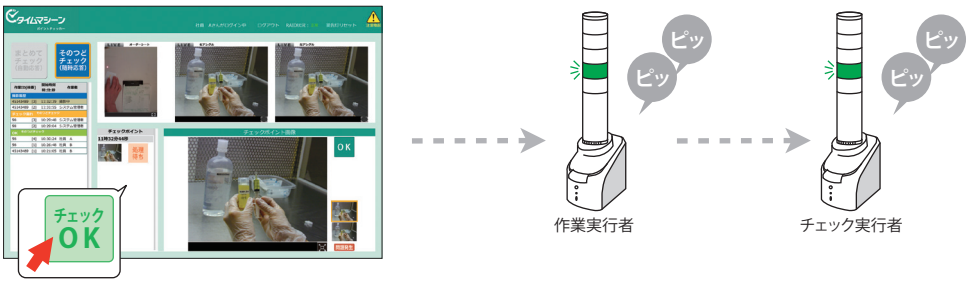
警告灯が白色に点灯している時に（チェック実行者がチェックポイントを確認して「OK」ボタンをクリックする前に）、作業実行者が作業指示書用リーダからクリップボードを外した場合は、チェック実行者はフルスクリーン画面をいったん閉じてから再度「フルスクリーン表示」ボタンをクリックしてください。チェックポイントの画像が正常に表示されなくなります。

注意！
「OK」ボタンをクリックした時に「認証に失敗しました .....」というメッセージが表示される場合は、ログインに失敗しています。「リセット」ボタンをクリックの上、再度ログインからやり直してください。

＜OKの場合＞

① OKボタンをクリックします。

②警告灯の色が、白色から緑色に戻ります。



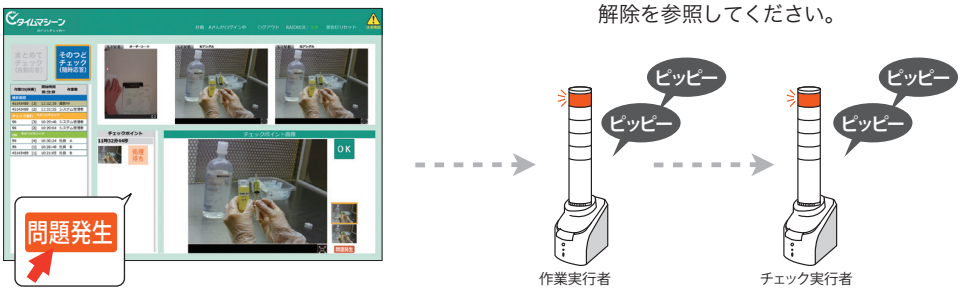
＜問題発生の場合＞

①問題が発生して作業を中止させる場合は、問題発生ボタンをクリックします。

②エラー状態になり、警告灯の色が白色から赤色に変わります。

注意！
エラー状態になると、その作業は中止されます。解除されるまでは、すべての操作ができません。解除後に新たに作業をやり直してください。

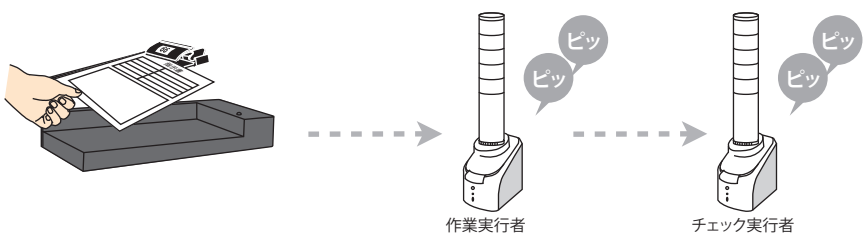
※解除方法は、P20 H. エラー状態（問題発生）の解除を参照してください。



E. 画像撮影を終了する（作業実行者）

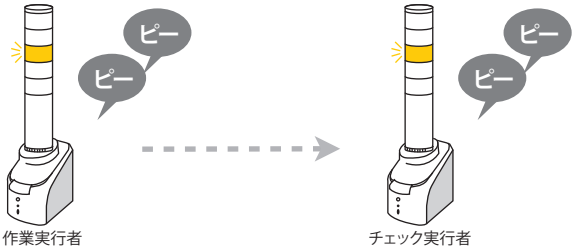
①作業実行者が、作業指示書用リーダからRFIDを外します。

②警告灯が緑色（白色）から無灯に変わります。



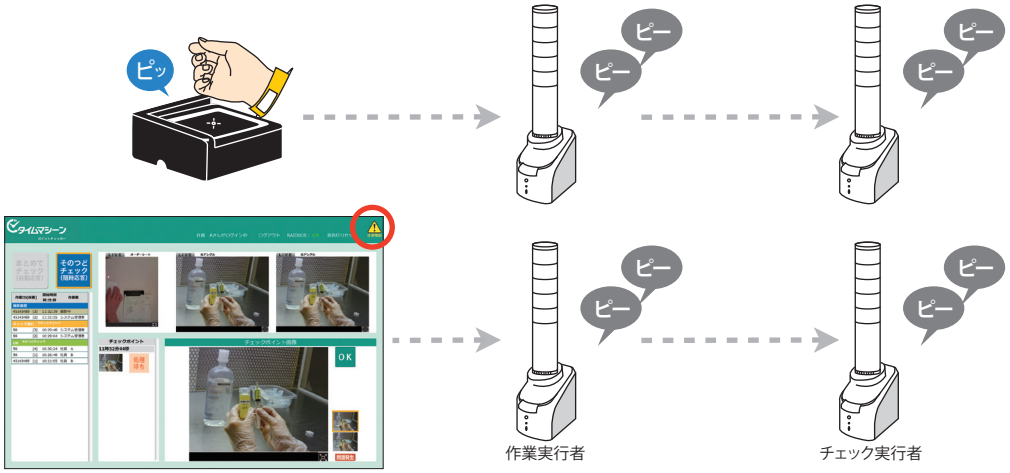
F. チェックポイントの指定に失敗した場合（作業実行者）

警告灯が黄色に点滅します。リストバンドをもう一度、チェックポイント用リーダにかざして下さい。



G. 注意を促す（チェック実行者・作業実行者）

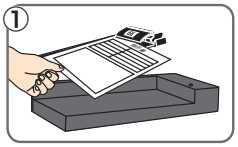
・作業実行者、チェック実行者それぞれが注意喚起をすることができます。
・警告灯の音が鳴ります。色は表示されません。
・画像撮影中でなくても、いつでも注意喚起をすることができます。
・作業実行者は、注意喚起用リストバンドをチェックポイント用リーダにかざします。
・チェック実行者は、注意喚起ボタンをクリックします。



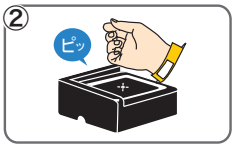
H. エラー状態（問題発生）の解除（チェック実行者・作業実行者）

順番に次の３つの操作を行いエラーを解除します。

①エラー解除後、作業実行者が、作業指示用リーダからRFIDを外して下さい。



②作業実行者が、エラー解除専用RFIDをチェックポイント用リーダにかざして下さい。



③チェック実行者が、解除ボタンをクリックして下さい。

※必ず①②の操作の後で③を実行して下さい。

2）まとめてチェック（自動応答）を使ってチェックする

作業する

A. 画像を撮る

◎作業指示書用リーダにクリップボードを置いて画像を記録します。
◎作業指示書用リーダに対応しているカメラ（複数可能）の画像を約１秒に１回撮影します。

B. チェックポイントを指定する

◎チェックポイント用リーダにリストバンド等をかざして、チェックポイントを指定します。

注意！
・警告灯が緑色に点灯していない時はチェックポイントを指定できません。
・警告灯が白色に点灯している時に再度チェックポイントを指定しても画像表示は更新されず、すでに指定された画像がそのまま表示されます。
・チェックポイント用リーダにRFIDをかざし続けたり、フットスイッチを何回も踏んだり、踏み続けたりするとチェックポイントが重複して指定される場合があります。

C. 撮影中のチェックポイントの画像を確認する

◎作業指示書用リーダにクリップボードを置きます。
◎本日のチェック状況をクリックします。

◎チェックポイント用リーダにリストバンドをかざした時点の画像を画面右側に表示します。

◎端末を作業位置から見える場所に設置しておくと便利です。
※ iPad をお使いの場合は、画面を横にしてお使いください。

D. チェック実行者に鑑査を要求する

◎作業実行者がチェック者に鑑査を要求する場合は、鑑査要求用のリストバンドをチェックポイント用リーダーにかざします。
◎チェック実行者側の警告灯が青色に点灯し、音が鳴ります。

チェックする

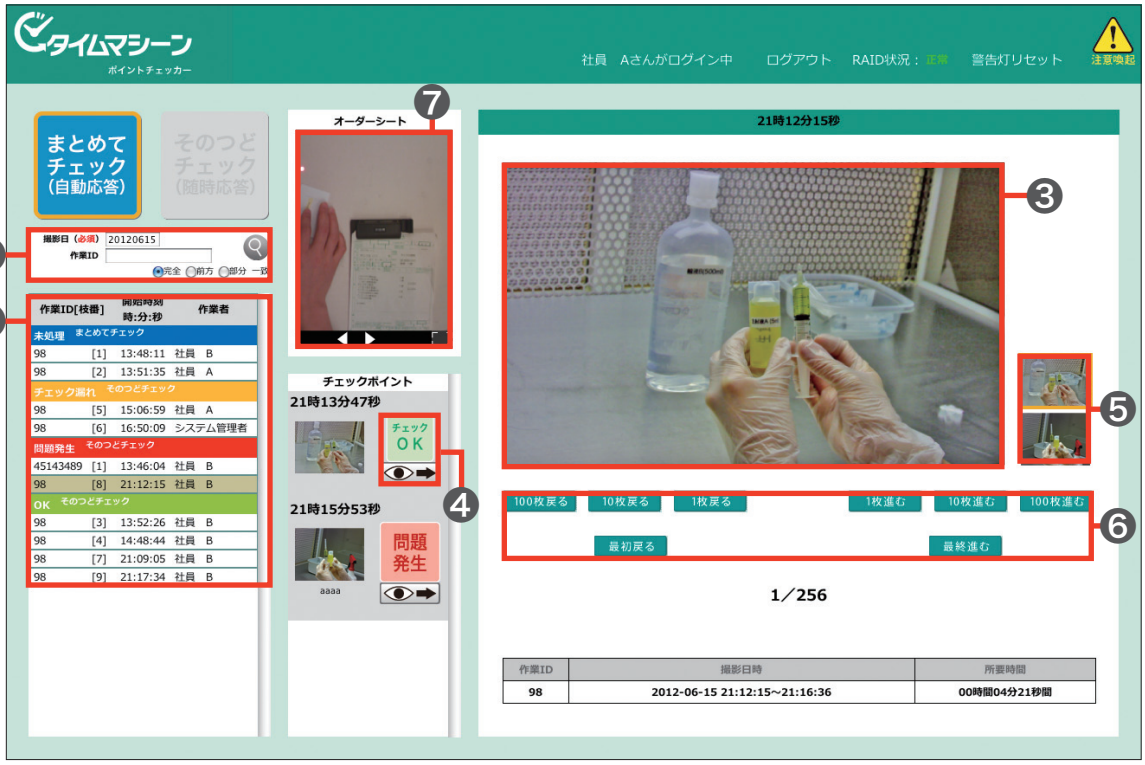
A. ログインする

B. 作業IDを検索する

◎本日分を表示します。
◎未処理、NG、OKの順に分類して、古い作業IDの順に上から表示します。
◎本日分以外を検索する場合、撮影日の年月日を入力してください。

C. チェックする

◎未処理の作業IDをクリックします。
◎チェックポイントの画像を確認します。
◎必要に応じてチェックポイント以前の画像、あるいは別のカメラの画像を確認します。
◎チェックポイントのOK､NGをクリックします。
◎すべてOKの場合、作業実行者側の警告灯が緑色に点灯します。NGの場合は赤色に点灯します。
◎ NGをクリックすると、NGの理由記入欄が表示されます。コメント入力の上、確定ボタンをクリックしてください。コメントがない場合は､スキップボタンをクリックしてください。
◎すべてのチェックポイントがOKになれば、OKと表示します。１つでもNGがあればNGと表示します。



❶撮影日から検索

❷未処理、NG、OKをリアルタイムに更新表示

❸チェックポイント画像を表示。

❹鑑査結果としてOKまたはNGをクリックします。

❺別のカメラの画像を表示

❸で表示中の画像と同時刻のカメラ画像を表示します。

❸には常時、チェックポイント画像（メインカメラの画像）が表示されます。

❻前後の画像を表示

❼カメラのうち１台は作業指示書の撮影専用にお使いください。名称は任意に変更できます。

注意！

該当する作業IDがチェックOKと表示されていることを必ず確認してください。特に複数の作業 ID をまとめて確認する場合は、NGや未処理に非表示であるという理由からチェックOKだという消去法による確認は絶対にしないでください。

7. システムの動作状況を確認する

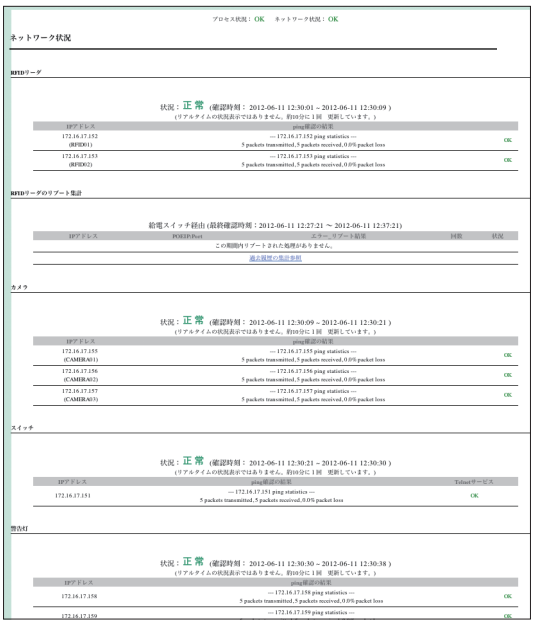
まとめてチェック（自動応答）から確認することができます。

1）「プロセス状態確認」をクリックする

※省エネモードで作動中とは

電源が OFF になった状態です。対象機器は、カメラとリーダーです。管理設定の省エネモード管理で設定することができます。

2）「ネットワーク状況確認」をクリックする。



※リブート

機器を再起動することを意味します。ポイントチェッカーではエラーを検出した時点で機器を正常動作に戻すために自動的に再起動させています。

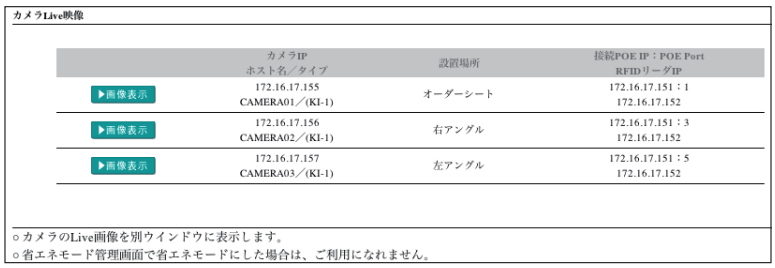
3）システムの設定をする

A. 管理設定

◎「管理設定」ボタンをクリックすると、管理設定画面が開きます。
◎管理設定画面は各種設定、メンテナンス及びシステム状況の確認の際に使用します。
◎名前とパスワードが要求される場合は、システム管理者しか設定できません。

B. カメラlive映像

◎「画像表示」ボタンをクリックして、カメラのライブ映像を確認することができます。



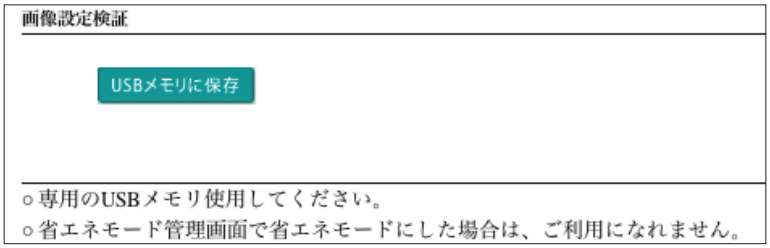
C. 画像設定検証

すべてのカメラのlive画像 (スナップショット)をUSBメモリに保存します。 弊社独自仕様のUSBメモリのみお使いいただけます。

注意！

弊社独自仕様ではないUSBメモリを使用しないでください。故障の原因になります。

◎ USBメモリをサーバに挿入します。
◎「画像設定検証」ボタンをクリックします。

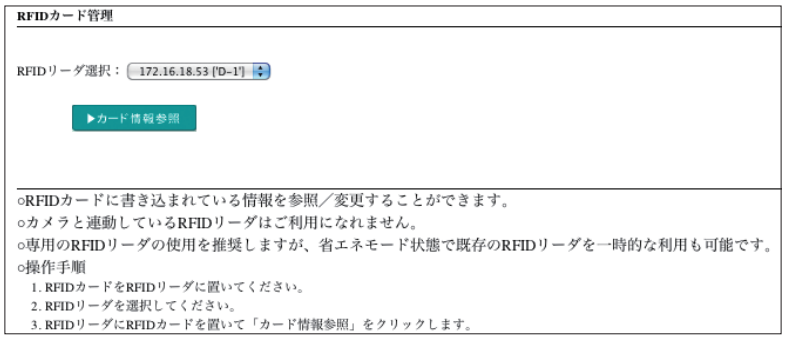


◎「USBメモリ保存」ボタンをクリックします。接続されているすべてのカメラのlive映像 （スナップショット 1 枚）をUSBメモリに保存します。

注意！
画像の保存中、または、画像を保存しないまま、USBメモリをサーバから抜かないでください。
ハードディスクが壊れます。

D.RFIDカード情報管理

◎ RFIDリーダーを使って、RFIDカードへのクリップ番号の変更、参照及び書き込みをする場合に使用してください。



E. サーバ管理

◎カメラの電源をON/OFF、または、サーバを再起動、サーバを終了させる際に使用します。

F. カメラ設置場所管理

薬局と設置場所名称 (作業場所) を設定する際に使用します。

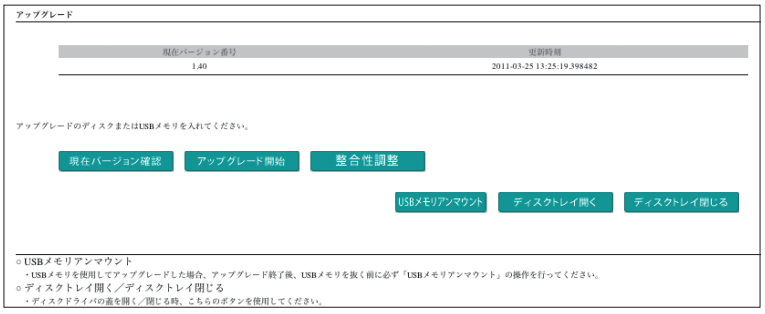
G. 設定情報の保存

設定情報 (設定ファイル・データベース) をディスク (CD-RまたはUSBメモリ) に バックアップするときに使用してください。サーバにディスクを挿入後、「バックアップ開始」ボタンをクリックします。

H. アップグレード

◎アップグレードする際に使用します。

◎送付されてきたアップグレード用のディスク（CD-RまたはUSBメモリ）を、サーバに挿入後、「アップグレード開始」ボタンをクリックします。アップグレード中（３～５分間） はブラウザに読み込み中の表示が出ています。



注意！

RAIDに異常表示が出ている場合は、アップグレードすることはできません。

I. カメラ・リーダーグループ管理

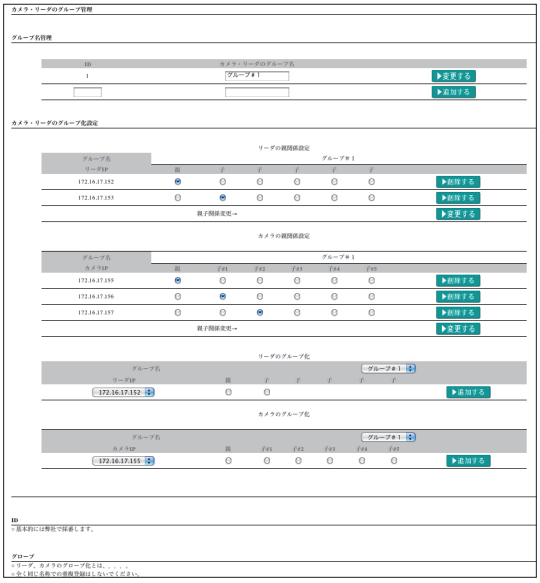
カメラとリーダの属性を設定します。

◎作業指示書撮影用カメラを、親と設定します。

◎メイン画像のカメラを、子 #1 と設定します。

◎画像撮影用のリーダを、親と設定します。

◎チェックポイント用リーダを、子と設定します。



J. 省エネ管理

◎カメラ、リーダの電源をON/OFFできます。夜間、休日などにお使いください。

◎カメラ、リーダの電源が OFF の時は、以下の機能を使用できません。

・カメラLive映像

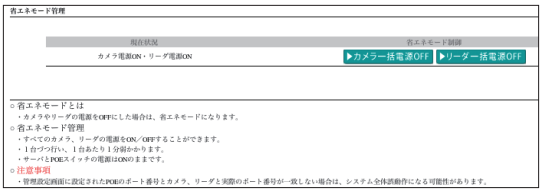
・プロセス状況確認

・ネットワーク状況確認

・画像設定検証

注意！

電源ON/OFFは、POEスイッチのポート番号で管理しています。必ずカメラ、RFIDリーダが正しいポート番号に接続されていることを確認してください。

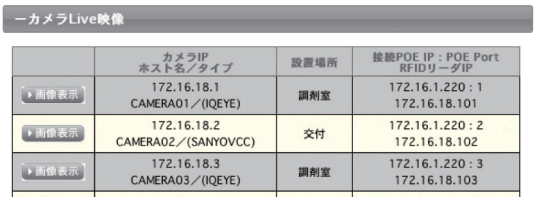


8. 焦点を調節する

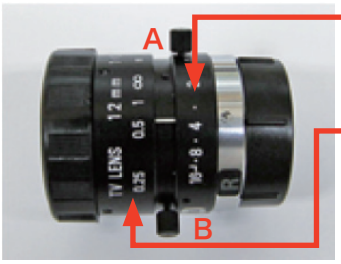
カメラを設置後、画像を見ながらレンズの焦点を調節することができます。

① 画像を確認するため、管理設定の「カメラlive映像」を開きます。

②「画像表示」をクリックして画像を見ることができます。だいたい様子がわかる程度までレンズの焦点調節リングを回してください。

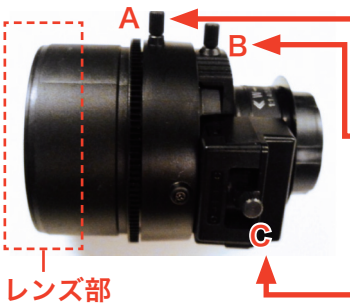


注意！
焦点を調節するときはＦ値が小さい数字（「絞り」を開いた状態）から始めてください。



絞り調節
ノブAをゆるめてからつまんで「16 ～ 1.4」に合わせます。

焦点調節
ノブBをゆるめてからつまんで「0.25 ～無限大」に合わせます。



焦点調節
つまみAをゆるめてから、レンズ部をまわして合わせます

焦点距離調節（3.8mm~13mm）
つまみBをゆるめてから、つまんで合わせます。
W 側：3.8mm　　T 側：13mm

絞り調節
つまみCをたおして設定します。目盛表示はありません。両端が最大と最小になっています。○印の側が最小絞り。C印の側が最大絞り。真ん中からやや絞りを大きくしたところに設定します。

③焦点確認用のISO12233解像度チャートをカメラの下に置き、画像を確認しながらレンズの焦点調節を少しずつ回してください。

注意！
焦点調節を回してから画像に反映されるまでに少しタイムラグがあります。

＊焦点調節はレンズの型式により若干異なりますが赤印付近にあります。
詳細は各レンズの取扱説明書を参照ください。

④レンズの絞り（F 値）を部屋の明るさに応じて調節します。

絞り調節とは

調レコのレンズには、「絞り」の調節リングがあります。
絞り具合は、F 値という数値で表します。F 値が、小さいほど絞りが開いている状態です。
F 値は、通常「1.4」「2.0」「4」「8」「16」などの値がレンズに記されています。
以上のことをご理解の上、F 値を設定ください。通常は「4」近辺でお使いください。

F 値が小さいほと（1.4 など）

1）ピントが合っている領域（被写界深度）が浅くなり、ピント合わせが難しくなります。
2）カメラに入る光が多くなるため、暗い所でもよく映ります。

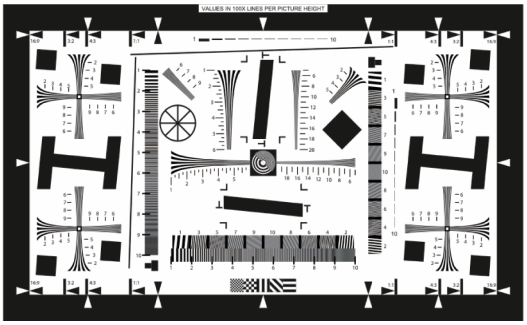
F 値が大きいほど

1）ピントが合っている領域（被写界深度）が深くなり、机上だけでなく、少し上下してピントが合うようになります。
2）カメラに入る光が少なくなるため、暗い所では、画面にノイズが出ます。
一般的なレンズでは、中間的な F 値で解像度が最大になります。

＊ ISO12233解像度チャートの使い方と入手方法

・焦点調節では、視覚解像度、限界解像度、および SFR(spatial frequency response) の 3 種類の測定法のうち、視覚解像度（撮影された画像を人が見て、黒 / 白の細い線がどこまで見分けられるかを検出）を使用します。水平、垂直、斜め45度の本数を数えて解像度を確認（＊）しながら、カメラのレンズにある焦点調節リングを回して調節します。詳細は、一般社団法人カメラ映像機器工業会（http://www.cipa.jp/）、財団法人日本規格協会（http://www.jsa.or.jp/）を参照ください。

・解像度チャートは、次の URL からフリー版をダウンロードすることができます。
http://www.graphics.cornell.edu/~westin/misc/ISO_12233-reschart.pdf



9. 困ったときは

初期画面が開かない
サーバ、POEスイッチのLANケーブルが抜けていませんか？サーバ、POEスイッチの電源が入っていませんか？

リーダのランプが点灯しない
リーダのLANポートのランプは点灯していますか？ POEスイッチの各LANポートのランプは点灯していますか？ POEアダプタとリーダ間の電源ケーブルが抜けていませんか？初期画面は開きますか？ネットワーク状況に異常はありませんか？ プロセス状況に異常はありませんか？

クリップボードをおいてもRFIDリーダのランプの色が赤色に変わらない
クリップの置き方は正しいですか？クリップの裏側にRFIDカードは貼付けられていますか？ 別のリーダでランプが赤色になりますか？ 初期画面は開いていますか？ ネットワーク状況に異常はありませんか？プロセス状況に異常はありませんか？

ネットワーク状況に異常と表示される
「異常」と表示されている機器を特定し、電源コード、LANケーブルなどの配線が正常に接続されていることを確認してください。

プロセス状況に異常と表示されている
「異常」と表示されている項目を特定し、サポートまで連絡ください。

RAID状況に異常と表示されている
外付けHDDの電源は入っていますか？外付けHDDとサーバを接続しているケーブルがはずれたり、ゆるんだりしていませんか？ 外付けHDDの電源ボタンを誤って押していませんか？

記録も画像も撮れていない
カメラ、サーバ、POEスイッチの電源が入っていますか？プロセス状況確認に異常表示はありませんか？

記録はされているが画像が撮れていない
カメラは動作 (赤色ランプの点灯) していますか？　外付けHDDの電源は入っていますか？外付けHDDとサーバを接続しているケーブルがはずれたり、ゆるんだりしていませんか？

使用中にサーバの電源ボタンを押してしまった
電源ランプがゆっくり点滅している場合は、サーバのスリープ機能が動作しています。　画面を開くと、サーバが起動して電源ランプも正常に点灯します。電源ランプが消灯している場合は、電源を入れてください。

ときどきサーバが固まるのですが？
電圧降下や電源の瞬停など供給電源の安定性をご確認ください。対策としては、無停電電源装置がございます。

画像は必ず撮れるのですか？
TCP/IPのベストエフォート型なので、撮り落としが発生する可能性があります。

10. よくあるご質問

ログインにはタイムアウトはありますか？
まとめてチェックの場合は、10分間です。そのつどチェックの場合は、タイムアウトはありません。ただし、チェックポイントを指定して「OK」「問題発生」をクリックしないままの状態だと、10分間でログアウトします。

チェックポイント用リーダに連続してリストバンドをかざすことはできますか？
まとめてチェックの場合は、5 秒以上の間隔をあけてください。
そのつどチェックの場合は、チェック実行者が OK して警告灯が緑色になればすぐにかざすことができます。

ログインIDとパスワードに漢字を使えますか？
英数字で10桁までお使いになれます。

リストバンドやクリップボードにIDを登録 (変更) するにはどうすればいいのですか？
購入先にご依頼ください。

1つのリーダに何台までのカメラを接続できますか？
6 台程度です。

小さいカメラはありますか？
特にご用意していません。隠すよりもむしろ、カメラがきちんと見えていることが好まれます。カメラがどこを撮影しているかが分かるからです。

カメラを天井内に埋めて見えない様に設置出来ますか？
発熱しますので、設置方法として推奨出来ません。

カメラはオートフォーカスですか？
オートフォーカスの必要はありません。設置時に焦点を調節すればそのままお使いになれます。

レンズは交換可能ですか？
有償で交換可能です。

参照端末はWindowsで大丈夫ですか ？
ブラウザ「Safari5.1.7」をインストールしてください。

参照端末の必要最低スペックを教えてください ？
Macを推奨しています。Windows端末であれば、ここ 1 ～ 2 年に新規発売されたパソコンであればスペックは十分です。

iPad は参照端末として使えますか？
作業実行者側の参照端末としてお使いになれます。お客様の方で、Air Macなどの無線LANルータをご用意いただくことでお使いになれます。

カメラやリーダが増えた時、POEスイッチはどうなるのですか？
追加購入、もしくはポート数の多いものと交換となります。

カメラの設置高さは？
適切なレンズを選択することにより、天井高約30cm~900cmの範囲で　取り付けられます。(撮影幅60cm)

作業場所の幅は？
横幅60cm×縦幅45cmを標準としています。

撮影した画像データはどこに保存されるのですか？
外付けHDDに保存されます。

画像データの保存期間は？
初期設定は３ヶ月です。ユーザー様にて任意の期間に変更できます。但し残容量が15%以下になった場合、古いものから上書き消去されます。

画像データを消去することはできますか？
管理設定の画像データ削除から消去できます。

社内イントラへの影響はありますか？
購入先にご依頼ください。

音声で記録をとれますか？
現時点では対応していません。

消費電力はどの程度ですか？
カメラ2台で60W程度です。

ウィルスは大丈夫ですか？
外部ネットワークと接続しないかぎり問題ありません。

停電した場合、自動で復旧稼働しますか？
正常に再起動しない恐れがあります。あらかじめわかっている場合には停電前に、管理設定のサーバ管理からサーバ電源を停止してください。

作業指示書ではなく、注射指示票を使っているのですが？
管理設定のカメラ設置場所管理から名称を変更できます。

参考１　機器消費電力一覧

◎機器別消費電力

機器名称	最大消費電力 (w)	備　　考
サーバ	85	
外付けハードディスク	24	
POEスイッチ(24ポート)	242	1 ポートあたり最大給電可能電力 15.4W
POEスイッチ(16ポート)	236	1 ポートあたり最大給電可能電力 15.4W
POEスイッチ(8ポート)	166	1 ポートあたり最大給電可能電力 15.4W
カメラ	2.8	
RFIDリーダ	1	

参考２　カメラ焦点調節

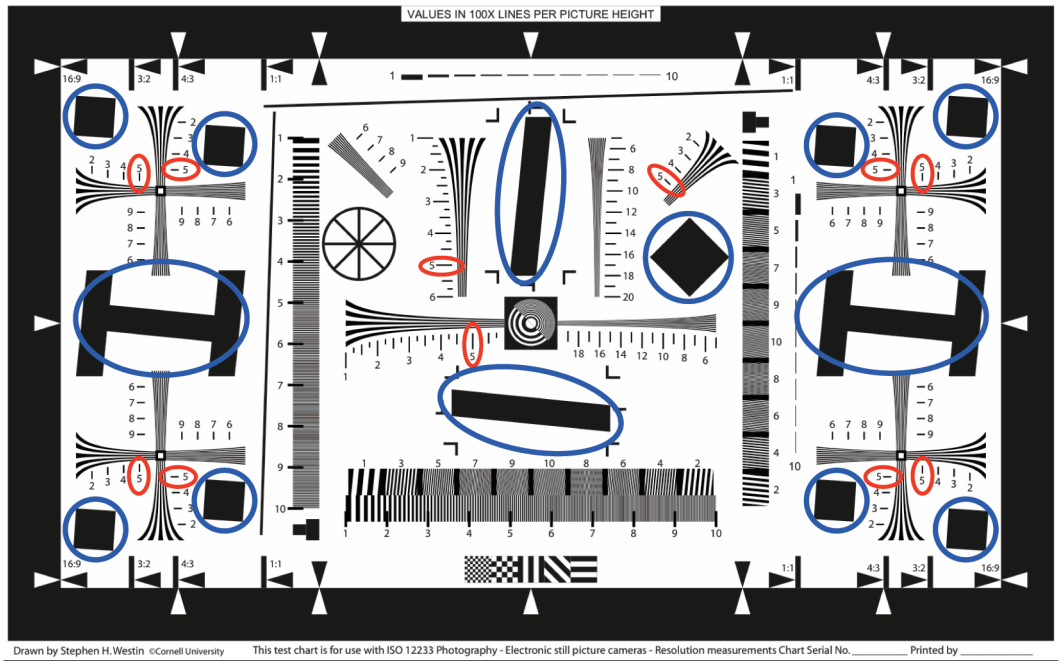
機器設置時の焦点調節及び画質確認は、必ずISO準拠の解像度チャートを使用します。
焦点調節基準は、被写体として薬の銘柄あるいは処方箋に印字された文字を判別することができるものとし、視覚解像度を用いて確認します。

＊視覚解像度とは、撮影された画像を人が見て、黒 / 白の細い線がどこまで別の線として見分けられるかを検出すること

＊焦点調節時の絞りは通常「4」に設定します。

＊明るさに応じて絞りを調節することはできますが、絞りを開けば開くほど被写界深度が浅くなりピント調節が難しくなります。

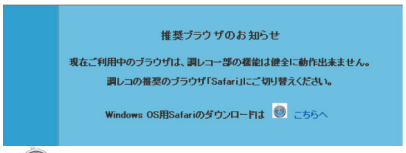
赤色◯印及び青色◯印で示した部分の焦点が合っていることを確認します。



参考３　Safari windows 版のインストール方法

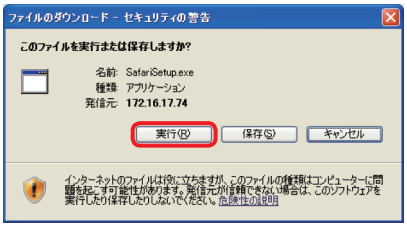
safari(windows版)のインストール方法

1



「 」こちらへをクリック

2

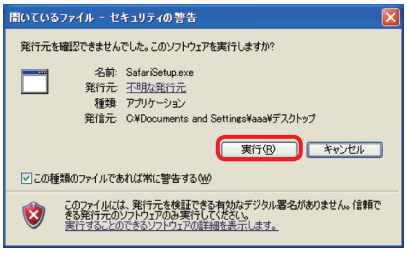


「実行」をクリック

3

「アイコン」をクリック

4

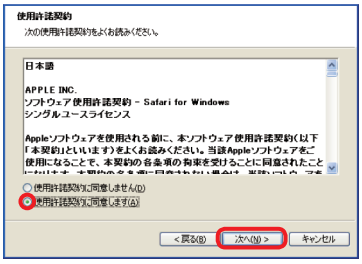


「実行」をクリック

5

「次へ」をクリック

6

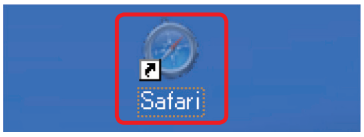


「使用許可書に同意します」にチェックし、
「次へ」をクリック

7

「終了」をクリック

8



「終了」をクリック

注意！
必ず Safari 5.1.7以降をインストールしてください。

更新履歴

日　付	Ver 番号＋版	更新内容
2011/ 6 /29	Ver1.10 第 1 版	α版リリース
2011/ 8 /27	Ver1.30 第 2 版	作業実行者側タブレット対応、閲覧機能追加
2011/10/18	Ver1.31 第 3 版	USBメモリによるアップグレード機能追加
2012/ 3 /14	Ver2.00 第 4 版	そのつどチェックモード追加、フルスクリーン画面追加
2012/ 6 /19	Ver2.10 第 5 版	画面デザイン変更
2012/ 7 / 9	Ver3.10 第 6 版	フットスイッチ対応